

2 平成25年主要災害種類別被害概況

(1) 平成24年12月以降の降雪等による農作物被害

平成24年12月以降の降雪等により、主に果樹で樹体損傷等の被害が発生し、被害面積は5,740ha、被害見込金額は20億1,000万円となった。

ア 気象概況

平成24年12月以降、寒気の影響により低温となった日が続き、北日本の日本海側を中心に降雪量が多かった。

青森県の酸ヶ湯では積雪の深さが566cmとなるなど、記録的な積雪となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、りんご等の果樹が19億7,000万円（被害総額の98%）と最も大きく、次いでほうれんそう等の野菜が1,500万円（同1%）、小麦が1,400万円（同1%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、青森県が19億4,000万円（被害総額の97%）と最も大きく、次いで北海道が2,100万円（同1%）、秋田県が1,900万円（同1%）となった。

表 1 - 1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	5,740	902	13,300 4 千鉢	2,010	100	
麦 類	102	91	239	14	1	北海道
雑 穀 ・ 豆 類	10	10	20	6	0	北海道
野 菜	4	3	33	15	1	奈良、茨城、秋田
果 樹	5,630	798	13,000	1,970	98	青森、秋田、長野
そ の 他 農 作 物	0	0	4 千鉢	0	0	埼玉、山形

注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。

2 その他農作物は、切り花類、種苗・苗木類等である（以下の各表において同じ。）。

3 被害量の単位は、切り花類及び種苗・苗木類は千本、鉢もの類は千鉢、切り葉は千枚、それ以外の作物はtである（以下の各表において同じ。）。

(2) 4月中旬以降の降霜による農作物被害

4月中旬から5月上旬にかけての降霜の影響により、主に果樹で結実不良、裂果等、工芸農作物の茶で新芽の変色、枯死等の被害が発生し、被害面積は1万5,400ha、被害見込金額は75億1,000万円となった。

ア 気象概況

4月中旬から5月上旬にかけて、強い寒気が日本付近に流れ込んだ影響により低温となり、全国の広い範囲で降霜が数日あった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、日本なし等の果樹が52億9,000万円（被害総額の70%）と最も大きく、工芸農作物の茶が20億円（同27%）、スイートコーン等の野菜が1億9,200万円（同3%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、長野県が27億5,000万円（被害総額の37%）と最も大きく、次いで静岡県が19億8,000万円（同26%）、栃木県が15億3,000万円（同20%）となった。

表 2 - 1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	15,400	4,000	{ 30,800 193 千本	7,510	100	
麦 類	1,910	-	216	12	0	栃木、長野
野 菜	685	47	787	192	3	山梨、長野、茨城
果 樹	7,470	1,720	24,400	5,290	70	長野、栃木、茨城
工 芸 農 作 物	5,190	2,180	5,320	2,000	27	静岡、神奈川、山梨
桑	88	51	5	10	0	栃木、群馬、埼玉
そ の 他 農 作 物	11	0	193 千本	11	0	長野

(3) 台風第18号による農作物被害

台風第18号により、主に果樹で落果等、水稲で倒伏等の被害が発生し、被害面積は4万7,100ha、被害見込金額は45億4,000万円となった。

ア 気象概況

強風域の半径が500kmを超えた大型の台風第18号は、9月16日8時前に暴風域を伴って愛知県豊橋市付近に上陸し、その後、関東地方から東北地方を縦断した。

この台風とその北側に停滞していた秋雨前線の影響を受け、北日本から西日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に、福井県、滋賀県、京都府では記録的な大雨となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、果樹が15億2,000万円（被害総額の33%）と最も大きく、次いで水陸稲が10億7,000万円（同24%）、野菜が7億8,900万円（同17%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、群馬県が11億円（被害総額の24%）と最も大きく、次いで青森県が9億5,800万円（同21%）、京都府が3億5,200万円（同8%）となった。

表3-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額 100万円	構 成 比 %	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	47,100	1,630	32,800 228 千本 27 千鉢 19 千枚	4,540	100	
水 陸 稲	22,600	455	4,690	1,070	24	新潟、岩手、京都
麦 類	4	-	0	0	0	北海道
か ん し ょ	16	2	35	5	0	京都、静岡、滋賀
雑 穀 ・ 豆 類	11,900	382	1,250	328	7	北海道、福島、京都
野 菜	2,440	196	5,160	789	17	群馬、京都、滋賀
果 樹	5,110	438	8,690	1,520	33	青森、福島、長野
工 芸 農 作 物	1,360	95	4,950	726	16	群馬、京都、北海道
飼 肥 料 作 物	3,680	58	8,060	81	2	北海道、福島、群馬
そ の 他 農 作 物	14	0	228 千本 27 千鉢 19 千枚	16	0	福島、京都、岩手

(4) 台風第26号及び第27号による農作物被害

台風第26号及び第27号により、主に野菜で冠水等、果樹で落果等の被害が発生し、被害面積は1万8,700ha、被害見込金額は23億円となった。

ア 気象概況

台風第26号は、10月16日明け方に関東地方沿岸に接近した後、関東の東海上を北上し、16日15時に三陸沖で温帯低気圧に変わった。これにより、15日と16日を中心に西日本から北日本の広い範囲で暴風、大雨となった。

台風第27号は、10月26日昼前に伊豆諸島南部に最接近し、26日15時に関東の東で温帯低気圧に変わった。この台風接近と停滞前線の影響により、西日本から東日本にかけての広い範囲で暴風、大雨となった。

イ 作物別被害

作物別の被害見込金額は、野菜が7億9,400万円（被害総額の35%）と最も大きく、次いで果樹が6億7,100万円（同29%）、工芸農作物が2億9,800万円（同13%）となった。

ウ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、千葉県が5億7,700万円（被害総額の25%）と最も大きく、次いで茨城県が3億5,900万円（同16%）、岩手県が3億5,700万円（同16%）となった。

表4-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	ha	30%以上 ha				
総数	18,700	766	24,100 1,880 千本 3 千鉢 6,020 千枚	2,300 100万円	100%	
水陸稲	99	2	21	5	0	埼玉、沖縄、愛知
麦類	49	2	16	1	0	北海道
かんしょ	528	20	689	109	5	千葉、茨城、東京
雑穀・豆類	4,020	495	738	200	9	茨城、千葉、岡山
野菜	2,300	156	5,370	794	35	千葉、茨城、栃木
果樹	2,840	82	3,280	671	29	岩手、栃木、長野
工芸農作物	8,380	-	13,700	298	13	沖縄、鹿児島、北海道
飼肥料作物	353	5	257	3	0	栃木、鹿児島
その他農作物	138	4	1,880 千本 3 千鉢 6,020 千枚	220	10	東京、鹿児島、千葉

(5) トビイロウンカによる水稻の被害

9月中旬以降、九州の全域、兵庫県、岡山県、山口県、愛媛県で、トビイロウンカの吸汁により水稻に坪枯れ等の被害が発生し、被害面積は9万1,500ha、被害見込金額は105億円となった。

表5 水稻の被害概況（総括表）

都 道 府 県	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比
	ha	30%以上 ha			
総 数	91,500	10,400	46,100	10,500	100
兵 庫	4,940	28	1,350	318	3
岡 山	6,070	1,040	5,680	1,300	12
山 口	3,470	434	1,970	487	5
愛 媛	4,660	208	1,290	294	3
福 岡	10,200	1,870	6,560	1,460	14
佐 賀	12,000	2,720	8,150	1,730	16
長 崎	3,410	348	1,810	440	4
熊 本	10,600	1,040	5,210	1,160	11
大 分	13,700	1,760	6,490	1,640	16
宮 崎	8,650	415	2,970	673	6
鹿 児 島	13,800	548	4,630	995	9